

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

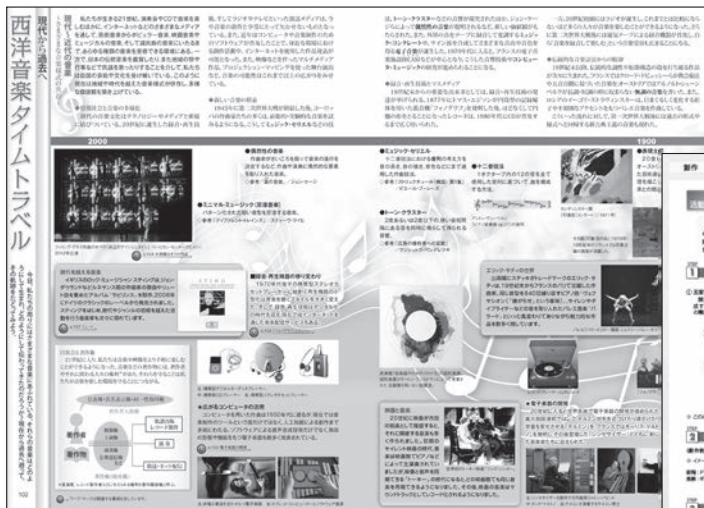
受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-74	高等学校	芸術	音楽Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	音Ⅱ 307	音楽Ⅱ 改訂版 Tutti		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～第5号）」を、学習活動を通して実現できるように編修しました。様々な楽曲や音楽活動を通して、芸術文化についての幅広い知識と教養を身に付けるとともに、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばしながら生徒一人一人の豊かな情操や創造性を培うことを目指すよう配慮しました。また、教材や学習内容の設定において、男女の平等や自他の敬愛と協力を重んずる態度、生命を尊び、自然を大切にすることを養うこと、ならびに伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、平和に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。

紙面の例

幅広い知識・教養を身に付ける



▲p.102 西洋音楽タイムトラベル

個人の価値を尊重して、 能力を伸ばし、創造性を培う



▲p.110 創作

豊かな情操を培う

教科書全般

様々な表現や鑑賞活動を通して、豊かな情操と道徳心を培います。

男女の平等、
自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う

生命を尊び、
自然を大切にする
態度を養う



▲p.46
シューベルトの子守歌/
学生歌



▲p.52
あなたはどこに



▲p.49 Ave verum corpus



▲p.14 四季の歌

女声と男声が協調し合い、豊かな響きを生む混声合唱を取り上げています。
『あなたはどこに』の歌詞には相手を思いやる心が描かれています。

伝統と文化を
尊重する態度
を養う

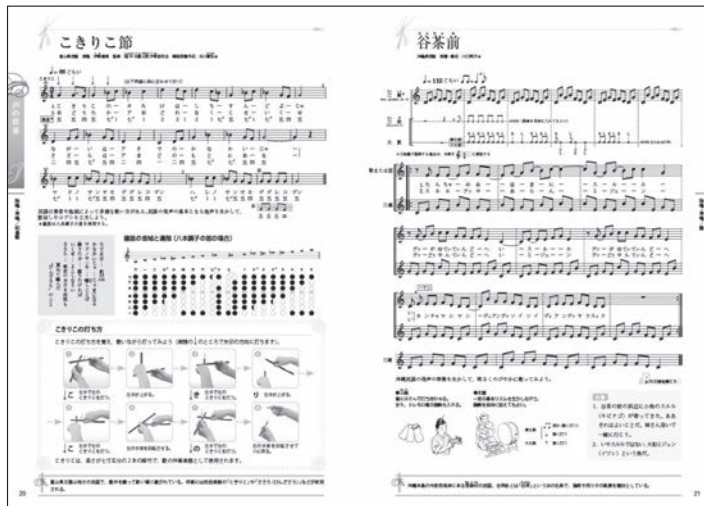


▲口絵⑤ 日本の舞台芸術



▲p.88 日本の音楽

我が国と郷土を
愛する態度を養う



▲p.20 こきりこ節
p.21 谷茶前

他国を尊重し、 平和に寄与する態度を養う



▲p.90 世界の声と楽器

構成・内容

- 様々な音楽活動を通して、**個人の価値を尊重し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う**とともに、生徒一人一人の**豊かな情操と創造性を培う**ことができるような構成及び内容としました。
- 様々な鑑賞活動や我が国及び西洋の音楽史を通して、**幅広い知識と教養を身に付けるとともに、伝統と文化を尊重**することができるよう配慮しました。

教材の選択

- **個人の価値を尊重し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う**とともに、生徒一人一人の**創造性を培う**ことができるよう教材の選択及び設定に配慮しました。
- 日本や他国の多様な音楽文化にふれながら、**我が国と郷土を愛する**とともに、**他国を尊重する態度を養う**ことができるよう教材の選択や資料の設定を行いました。
- 時代や曲種等に偏りなく幅広いジャンルの中から教材を選択し、音楽の多様なよさや美しさを感じ取りながら、**伝統と文化を尊重し、豊かな情操を培う**ことができるよう工夫しました。
- 楽曲に込められた思いやメッセージにふれながら、**生命を尊び、自然を大切に思う**心情や、**平和に寄与する態度を養って**いけることができるよう工夫しました。

2. 対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第1号〉 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、**健やかな身体を養う**こと。
- 〈第2号〉 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、**職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う**こと。
- 〈第3号〉 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、**公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う**こと。
- 〈第4号〉 **生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う**こと。

〈第5号〉 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
声の世界	<ul style="list-style-type: none"> • 歌う活動を通して、生徒一人一人が目的意識をもちながら、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うよう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第2号〉 • 歌う活動を通して、生徒同士が心を通わせ、自他の敬愛と協力を重んじながら、音楽活動を進めるよう選曲や学習内容を設定しました。〈第3号〉 • 自然や四季の美しさ、生命の大切さをテーマとした楽曲を取り上げ、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うよう配慮しました。〈第4号〉 • 日本をはじめ様々な国や地域の歌を通して、それぞれの特徴やよさを味わいながら、豊かな情操を培うとともに、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1, 5号〉 • 各地の民謡や芸能を取り上げ、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うよう配慮しました。〈第5号〉 	<p>p.4～57</p> <p>p.4～57</p> <p>p.6～8 p.14～19</p> <p>p.4～57</p> <p>p.20～21 p.44～45</p>
楽器の世界	<ul style="list-style-type: none"> • 楽器の演奏を通して、生徒一人一人が目的意識をもちながら、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うよう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第2号〉 • 楽器の演奏を通して、生徒同士が心を通わせ、自他の敬愛と協力を重んじながら、音楽活動を進めるよう選曲や学習内容を設定しました。〈第3号〉 • 和楽器を実際に演奏し、その響きや奏法を体験しながら、幅広い知識と教養を身に付け、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1, 5号〉 	<p>p.58～77</p> <p>p.58～77</p> <p>p.74～77</p>
舞台芸術の世界	<ul style="list-style-type: none"> • 舞台芸術作品の鑑賞や歌う活動を通して、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、多面的に音楽をとらえ、豊かな情操を培うよう配慮しました。〈第1号〉 • 生徒一人一人が目的意識をもちながら、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うよう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第2号〉 • 歌う活動を通して、生徒同士が心を通わせ、自他の敬愛と協力を重んじながら、音楽活動を進めるよう選曲や学習内容を設定しました。〈第3号〉 	<p>p.78～87</p> <p>p.78～87</p> <p>p.79～81 p.83～85</p>

図書の内容・構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な時代や地域の多様な音楽にふれ、その特徴やよさを味わいながら、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1, 5号〉 • 世界の様々な音楽について、その個々の特徴を知るとともに、その背景となる文化や歴史にふれながら、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第5号〉 • 我が国に伝わる音楽や芸能の系譜を学ぶとともに、その特徴やよさを味わいながら、幅広い知識と教養を身に付け、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1, 5号〉 	<p>p.88 ~ 107</p> <p>p.90 ~ 91</p> <p>p.88 ~ 89</p>
創作	<ul style="list-style-type: none"> • 音楽を形づくっている要素の働きを学ぶとともに、様々な創作活動を通して、生徒一人一人が目的意識をもちながら、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うよう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第2号〉 	<p>p.110 ~ 112</p>
西洋音楽史	<ul style="list-style-type: none"> • 西洋音楽の系譜を様々なできごとなどと絡めて学習し、幅広い知識と教養を身に付けるよう配慮しました。〈第1号〉 	<p>p.92 ~ 101</p> <p>p.102 ~ 107</p>
音楽の魅力言葉を伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒が自分の音楽体験を書き記し、互いに発表し合うことにより、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすことを意図しました。〈第2号〉 	<p>p.113</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、以下の点について編修上の工夫をしました。

• カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面

色覚特性を踏まえた、判読しやすい配色や表示の工夫により、すべての生徒が学びやすい紙面づくりに配慮しています。

• 環境にやさしい教科書

教科書の印刷には再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への影響を少なくするよう配慮しています。

• 見やすさに配慮した紙面

判型は「A4」を採用し、楽譜、文字、写真、図表などの見やすさに配慮しています。また、伴奏譜も豊富に掲載しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-74	高等学校	芸術	音楽Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	音Ⅱ 307	音楽Ⅱ 改訂版 Tutti		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書の四つの柱

音楽の幅広い活動を通して、表現及び鑑賞の能力を伸ばすことをねらいとし、「声の世界」「楽器の世界」「舞台芸術の世界」「鑑賞」の各ブロックを設け、教材や学習活動を選択、設定しました。また生涯学習を視野に入れながら、生徒一人一人の感性を高め、意欲を喚起するとともに、生徒が自ら考える主体的な学習や、個性を生かした創造的な音楽活動を展開していくことができる構成及び内容としました。

声の世界

日本や西洋の歌曲からポピュラー音楽、そして我が国や世界各地の民謡まで、様々な種類の楽曲をバランスよく取り上げました。原語による歌唱も体験できるように配慮しました。



▲p.16 からたちの花

楽器の世界

リコーダーやギター、和楽器などを用いた様々な曲種や形態の器楽曲を掲載しました。特に「カノン集」ではリコーダーのための、「エチュード集」ではギターのための練習曲を集めました。



▲p.66 エチュード集

舞台芸術の世界

オペラ、ミュージカル、人形浄瑠璃から作品を取り上げ、鑑賞と表現活動などを通して理解を深めることができるよう配慮しました。



▲p.78 椿姫

鑑賞

西洋音楽は、楽曲を曲種ごとに配置し、それらの歴史と合わせてとらえることができるよう工夫しました。我が国や世界の音楽は、写真等を用いてそれぞれの特徴を的確にとらえることができるよう配慮しました。



▲p.92 鑑賞/西洋音楽の流れ

各種コーナー

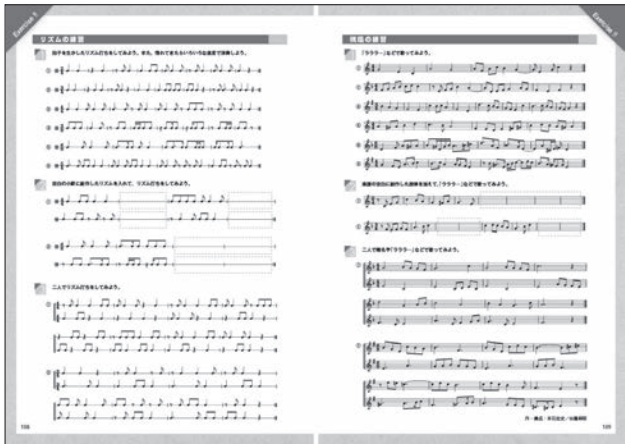
「創作」 p.110

音階から音楽をつくる活動、音素材の特徴を生かして音楽をつくる活動、既知曲をもとに変奏曲をつくる活動を設け、それらを通して創造的な表現の能力を伸ばすことができるよう配慮しました。



「Exercise !!」 p.108

リズム打ちや視唱のための課題を設け、歌唱表現やソルフェージュ能力の育成を目指しました。



その他の特色

・充実した資料ページ

楽典、楽器の音域表と配置例、作曲家年表、音楽史と史実、リコーダー運指表、ギター&キーボード・コード表などを豊富に掲載しました。

▶ 図⑩ ギター&キーボード・コード表

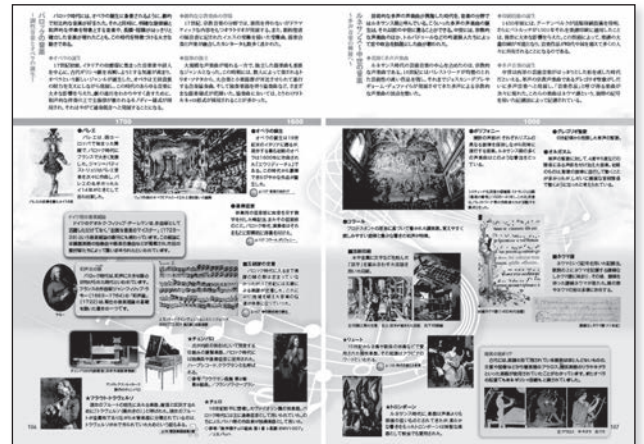
「和楽器のしらべ」 p.74

箏、三味線、三線について、楽器の構造や基礎的な奏法を、写真や図版を用いて紹介し、簡単な練習曲を掲載しました。



「西洋音楽タイムトラベル」 p.102

西洋音楽の歴史や、楽器、記譜法など音楽に関わる事柄を、現在から過去に遡って紹介し、写真や図版などとともを一覧できるよう工夫しました。



楽曲や学習事項などが関連しているページを示すマークを設け、学習内容が定着するよう工夫しました。

・カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面

色覚特性を踏まえた、判読しやすい配色や表示の工夫により、すべての生徒が学びやすい紙面づくりに配慮しています。

・環境にやさしい教科書

教科書の印刷には再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への影響を少なくするよう配慮しています。

・見やすさに配慮した紙面

判型は「A4」を採用し、楽譜、文字、写真、図表などの見やすさに配慮しています。また、伴奏譜も豊富に掲載しています。

2. 対照表

	該当箇所	A 表現												B 鑑賞					
		(1) 歌唱				(2) 器楽				(3) 創作				ア	イ	ウ	エ		
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ						
		曲想を理解し、イメージをもって歌うこと。	曲種に応じた発声の特徴を理解し、表現を工夫して歌うこと。	様々な表現形態による歌唱の特徴を理解し、表現を工夫して歌うこと。	音楽を形づくっている要素と働きを理解して歌うこと。	曲想を理解し、イメージをもって演奏すること。	楽器の音色や奏法の特徴を理解し、表現を工夫して演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現を工夫して演奏すること。	音楽を形づくっている要素と働きを理解して演奏すること。	音階を選んで旋律をつくり、副次的な旋律や和音を付けて、創造的につくること。	音楽を形づくっている要素と働きを理解して演奏すること。	音楽を形づくっている要素と働きを理解して演奏すること。	創造的に変奏や編曲をすること。	音楽材の特徴を生かし、反復、変化、対照など構成を工夫して、創造的につくること。	我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴について理解を深めて鑑賞すること。	楽曲の文化的・歴史的背景や、表現の特徴について理解を深めて鑑賞すること。	音楽を形づくっている要素と働きを理解して鑑賞すること。	声や楽器の特徴と効果とのかわりを理解して鑑賞すること。	
マイステージ	p.4~5	○	○																
瑠璃色の地球	p.6~7	○	○																
鳥唄	p.8	○	○																
川の流れるように	p.9	○	○																
Tomorrow	p.10	○	○																
小さな空	p.11	○	○																
いつも何度でも	p.12	○	○																
見上げてごらん夜の星を	p.13	○	○																
四季の歌	p.14~15	○	○	○															
からたちの花	p.16~17	○	○	○	○														
落葉松	p.18~19	○	○	○	○														
こきりこ節	p.20	○	○	○	○	○	○												
谷茶前	p.21	○	○	○	○	○	○												
草原情歌	p.22	○	○	○	○														
고향의 봄 (故郷の春)	p.22	○	○	○	○														
Bengawan Solo (ブンガワン・ソロ)	p.23	○	○	○	○														
Ave Maria	p.26~27	○	○	○	○														
Core 'ngrato (カタリ・カタリ)	p.28~29	○	○	○	○														
Piacere d'amore (はかなし愛の誓い)	p.30	○	○	○	○														
Auf Flügeln des Gesanges (歌の翼に)	p.31	○	○	○	○														

	該当箇所	A 表現												B 鑑賞			
		(1) 歌唱				(2) 器楽				(3) 創作				ア	イ	ウ	エ
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ				
		曲想を理解し、イメージをもって歌うこと。	曲種に応じた発声の特徴を理解し、表現を工夫して歌うこと。	様々な表現形態による歌唱の特徴を理解し、表現を工夫して歌うこと。	音楽を形づくっている要素と働きを理解して歌うこと。	曲想を理解し、イメージをもって演奏すること。	楽器の音色や奏法の特徴を理解し、表現を工夫して演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現を工夫して演奏すること。	音楽を形づくっている要素と働きを理解して演奏すること。	音階を選んで旋律をつくり、副次的な旋律や和音を付けて、創造的につくること。	音楽素材の特徴を生かし、反復、変化、対照など構成を工夫して、創造的につくること。	音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、創造的に奏や編曲をすること。	音楽を形づくっている要素と働きを理解してつくこと。	音や楽器の特徴と効果とのかかわりを理解して鑑賞すること。	音楽を形づくっている要素と働きを理解して鑑賞すること。	楽曲の文化的・歴史的背景や、表現の特徴について理解を深めて鑑賞すること。	我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴について理解を深めて鑑賞すること。
Ich liebe dich (愛の願い)	p.32～33	○	○	○	○												
Im wunderschönen Monat Mai (美しい五月に)	p.34～35	○	○	○	○												
Hymne à l'amour (愛の讃歌)	p.36	○	○	○	○												
Les feuilles mortes (枯葉)	p.37	○	○	○	○												
ソルヴェイグの歌	p.38	○	○	○	○												
母が教えた歌	p.38	○	○	○	○												
You raise me up	p.39	○	○	○	○												
Top of the world	p.40	○	○	○	○												
Let it be	p.41	○	○	○	○												
Can't take my eyes off of you (君の瞳に恋してる)	p.42	○	○	○	○												
Amazing grace	p.43	○	○	○	○												
ほたるこい	p.44～45	○	○	○	○												
Wiegenlied (シューベルトの子守歌)	p.46	○	○	○	○												
学生歌	p.46	○	○	○	○												
Grandfather's clock (大きな古時計)	p.47	○	○	○	○												
Moon River	p.48	○	○	○	○												
Ave verum corpus	p.49～51	○	○	○	○												
あなたはどこに	p.52～53	○	○	○	○												
When the saints go marchin' in (聖者の行進)	p.54～55	○	○	○	○												
Stand by me	p.55～56	○	○	○	○												
ケチャ・パーティー	p.57	○	○	○	○												
Air	p.58					○	○	○	○								
Jupiter	p.59					○	○	○	○								
アニメ・メドレー2	p.60～61					○	○	○	○								
カノン集	p.62					○	○	○	○								
When you wish upon a star (星に願いを)	p.63	○	○			○	○	○	○								
Start Up! Playing the Guitar	p.64									○							
なごり雪	p.65	○	○			○	○	○	○								
エチュード集	p.66～67					○	○	○	○								
Cavatina	p.68					○	○	○	○								
Can't help falling in love (好きにならずにいられない)	p.69					○	○	○	○								
The raiders march	p.70～71					○	○	○	○								
つきをよぶうた	p.72	○	○			○	○	○	○								
African peace piece	p.73					○	○	○	○								
六段の調～初段～	p.74					○	○	○	○								
ていんさぐぬ花	p.75	○	○			○	○	○	○								
松の緑～前弾～	p.76～77					○	○	○	○								
『管弦楽のための木挽歌』から	p.77					○	○	○	○								
オペラ『椿姫』	p.78												○	○	○		
Brindisi (乾杯の歌)	p.79	○	○	○	○												

